

6 基本的な避難行動について

(1) 災害等の違いによる避難の仕方

① 火災・近隣の建物火災

- 窓を閉め、カーテンを開けてとじ込む。
- 防災頭巾を着用し、ハンカチで鼻と口をおおい、速やかに避難する。

② 地震

[授業中]

- 教室の窓とドアを開ける。カーテンは閉める。
- 机の下に潜り、机の脚を対角に持つ。揺れが収まり次第、教師の指示で避難する。
- 防災頭巾を着用し、ハンカチで鼻と口をおおい、速やかに避難する。

[休み時間] 児童は以下の後、避難場所に集合する。

☆地震を感じたら、その場付近の安全な場所で姿勢を低くする。

教室…机の下に入る。

廊下…ガラス窓や蛍光灯を避ける。近くの教室に入り、机の下に入る。

体育館…ガラス窓や天井灯、バスケットリングなどを避ける。

トイレ…ドアを開け、その場で揺れが収まるのを待つか、トイレから出る。

校庭…校庭の真ん中に集まる。

③ 台風

- 朝の登校時、台風が来る場合は臨時休校、もしくは遅い時刻からの登校等、校長の判断による。その際、事前に各家庭にお知らせを配布したり、家庭数連絡網を回したりする。

- 下校時に台風が来る場合、校長の判断により授業をカットして早い時刻での下校指導をする。その際、家庭数連絡網等で家庭に連絡する。

- 下校指導の方法として、通常下校および教員の巡回パトロール、集団下校、引き渡し下校等の方法を講じる。